

平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 岡山製紙
 コード番号 3892 URL <http://www.okayamaseishi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 広瀬 靖弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務経理部長 (氏名) 永井 健司
 四半期報告書提出予定日 平成24年1月12日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 086-262-1101
 平成24年2月3日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	4,711	1.6	354	△12.6	383	△10.2	137	4.5
23年5月期第2四半期	4,636	△0.7	405	△36.0	426	△35.0	131	△66.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	19.64	—
23年5月期第2四半期	18.78	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	10,482		7,026			67.0
23年5月期	10,312		6,927			67.2

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 7,026百万円 23年5月期 6,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年5月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年5月期	—	6.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	0.2	380	△49.8	400	△49.2	240	△37.9	34.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期2Q	7,000,000 株	23年5月期	7,000,000 株
② 期末自己株式数	24年5月期2Q	19,649 株	23年5月期	19,289 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期2Q	6,980,454 株	23年5月期2Q	6,982,658 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(第2四半期累計期間)	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は東日本大震災後、4、5月に底入れし、緩やかな回復基調にありましたが、夏以降の欧州債務問題の再燃等による海外経済の減速傾向、更に常態化した円高進行もあり、景気全般において先行きの不透明感が強まる状況となっております。

こうした状況の中、当社は経営全般にわたるコスト低減に総力を結集する一方、需要に見合った生産レベルの維持と適正な製品価格の実現に努め、ほぼ当初の計画を達成いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は4,711百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は354百万円(同 12.6%減)、経常利益は383百万円(同 10.2%減)となりましたが、四半期純利益は投資有価証券評価損が前年同期より65百万円少ない87百万円の計上に留まった結果、137百万円(同 4.5%増)となりました。

各セグメントの概況は次のとおりであります。

○板紙事業

当事業関連では、震災復興用途を中心に需要が堅調に推移したこともあって販売数量は僅かに増加し、売上高は3,857百万円(前年同期比2.5%増)となりました。

○美粧段ボール事業

当事業関連では、通信機器関連品が順調に増加しましたが、青果物関連品や医薬品関連品が減少し、売上高は853百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は10,482百万円となり、前事業年度末に比べ170百万円増加しました。内訳は、流動資産が309百万円の増加、固定資産が139百万円の減少であります。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金273百万円の増加であります。また、固定資産減少の主な要因は、機械及び装置107百万円の減少であります。

負債は3,455百万円となり、前事業年度末に比べ71百万円増加しました。内訳は、流動負債が90百万円の増加、固定負債が18百万円の減少であります。

流動負債増加の主な要因は、支払手形及び買掛金141百万円の増加であります。また、固定負債減少の主な要因は、退職給付引当金28百万円の減少であります。

純資産は7,026百万円となり、前事業年度末に比べ98百万円増加しました。主な要因としては利益剰余金95百万円の増加であります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の67.2%から67.0%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想に関しましては、当第2四半期において計上いたしました投資有価証券評価損(87百万円)を除くと損益は当初計画を上回っておりますが、後半の経済環境等を考慮しますと平成23年9月30日に公表した予想値と変わりありません。なお、本予想値には当期末日における投資有価証券評価損発生の有無が予測できませんので、反映しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,237,681	2,511,416
受取手形及び売掛金	3,403,563	3,432,905
商品及び製品	279,129	274,441
仕掛品	33,222	20,588
原材料及び貯蔵品	290,786	313,646
その他	213,189	214,013
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	6,455,573	6,765,012
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	757,036	730,435
構築物(純額)	143,726	139,338
機械及び装置(純額)	1,595,122	1,487,768
車両運搬具(純額)	1,135	425
工具、器具及び備品(純額)	22,097	18,516
土地	174,452	174,452
リース資産(純額)	22,165	21,931
建設仮勘定	6,150	90,549
有形固定資産合計	2,721,887	2,663,417
無形固定資産	12,262	10,343
投資その他の資産		
投資有価証券	1,108,832	1,029,204
出資金	9,793	9,793
その他	3,783	4,423
投資その他の資産合計	1,122,408	1,043,420
固定資産合計	3,856,557	3,717,180
資産合計	10,312,130	10,482,193
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,740,075	1,881,972
未払金	331,450	313,341
未払費用	455,421	431,934
未払法人税等	141,248	128,487
その他	45,328	47,876
流動負債合計	2,713,524	2,803,613
固定負債		
繰延税金負債	83,708	104,310
退職給付引当金	450,757	422,075

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年11月30日)
役員退職慰労引当金	121,043	111,126
その他	15,113	14,819
固定負債合計	670,623	652,332
負債合計	3,384,147	3,455,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	821,070	821,070
資本剰余金	734,950	734,950
利益剰余金	4,963,829	5,059,010
自己株式	△7,987	△8,107
株主資本合計	6,511,862	6,606,923
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	416,121	419,324
評価・換算差額等合計	416,121	419,324
純資産合計	6,927,983	7,026,247
負債純資産合計	10,312,130	10,482,193

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	4,636,958	4,711,406
売上原価	3,575,488	3,695,084
売上総利益	1,061,469	1,016,321
販売費及び一般管理費	656,166	662,173
営業利益	405,303	354,148
営業外収益		
受取利息	58	36
受取配当金	20,866	22,232
受取保険金	—	6,113
その他	3,225	2,522
営業外収益合計	24,149	30,905
営業外費用		
売上割引	1,819	1,738
貯蔵品処分損	635	—
その他	7	9
営業外費用合計	2,463	1,747
経常利益	426,990	383,305
特別利益		
固定資産売却益	300	110
特別利益合計	300	110
特別損失		
固定資産除却損	2,042	1,753
投資有価証券評価損	152,567	87,270
特別損失合計	154,609	89,024
税引前四半期純利益	272,680	294,392
法人税、住民税及び事業税	159,903	124,540
法人税等調整額	△18,346	32,785
法人税等合計	141,556	157,326
四半期純利益	131,123	137,065

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。